

事務事業評価表 平成24年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 子育て環境の充実
 基本事業 未就学期児童への支援

事業名 **あかしゃ保育園整備事業 (中原通街路事業関連)**

[0984]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成23年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室保育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>あかしゃ保育園</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>買収対象用地を更地にするるとともに、保育園運営に必要な用地を確保する。 【買収に伴い狭小となった園庭を拡幅するとともに取得した代替用地を整備することにより適正な保育園の運営を図る。】</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>中原通拡幅計画により あかしゃ保育園用地が買収対象となるため、対象用地内の工作物の移設と代替地を購入する。 【保育園園庭の拡幅及び取得した代替用地の利活用のための整備工事を行う】</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	保育園数	園			1	1
対象指標2						
活動指標1	整備経費	千円			9,168	5,000
活動指標2	買収対象面積	m ²			254.31	0
成果指標1	整備実施件数	件			2	2
成果指標2	代替地購入面積	m ²			264.65	0
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	9,168	5,000
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,605	1,619
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	10,773	6,619

費用内訳	
23年度	委託料 290千円、工事請負費 6,026千円、公有財産購入費 2,852千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	道道拡幅事業により保育園用地の一部が買収されるため。	事業を取り巻く環境変化	平成23年度においては、江別の顔づくり事業の一環で北海道の主体事業として実施される道道中原通の街路整備事業に伴う用地買収にかかる経費を要したが、平成24年度においては、保育施設の適正かつ安全な運営を図るため、狭小された保育施設(園庭)の拡幅を取得した代替用地の整備費にかかる経費が必要となる。
--------	----------------------------	-------------	--

23年度の実績による事業課の評価(7月時点)

(1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか?市の役割や守備範囲にあった目的ですか?

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は?

本市が進める顔づくり事業の一環として、北海道が実施する中原通街路整備に伴う事業である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか?

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は?

北海道が実施する中原通街路整備事業に伴い、施設用地が買収の対象となりこれに伴い代替地の取得及び施設内の工作物移転工事を行うもので、保育所入所者の安全性の確保を念頭に実施したものである。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか?計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか?

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は?

計画は、施設の安全性及び利便性に十分配慮したものであり計画どおり事業が実施された。

(4)成果が向上する余地(可能性)は、ありますか?その理由は何ですか?

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は?

保育事業の運営を踏まえ、狭小された園庭を一定程度拡幅するとともに取得した用地の利活用のための整備を行なうことにより更なる成果が向上される。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか?(受益者負担含む)

- ある
- ない

理由・
根拠は?

入所者の安全性や利便性向上のための施設整備にかかるものでコスト削減の余地はない。